

令和８年度 校長よりメッセージ『竜北生、Ｇｏ‼』（竜北生の皆さん・保護者の皆様へ 27）

劇薬？ 漢方薬？

校長　尾﨑　淳一

相変わらず、テレビでは歌番組が多いですね。私は、元気が出る歌、いわゆる「ファイトソング」が苦手です。学校で辛いことがあると、「静かな曲」「哀しげな曲」「心が沈む曲」を小さな音で流しながら、時速 30 キロを遵守して、自宅までゆっくりゆっくりと車を走らせているのです。あまりに「ファイト！」などという曲を聴くと、「この世で自分だけが不幸……」と思うではないですか。あくまでも「個人の感想」ですが……。

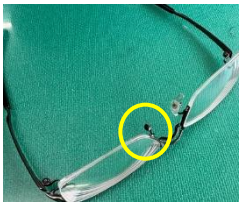
ところで、最近、衝撃的なタイトルの曲にテレビ番組で出会いました。その曲名は『劇薬中毒』……。詳しくは覚えていませんが、タイトルの印象よりもリズミカルなメロディーで、ほっとしましたね。そもそも、「劇薬」とは何でしょうか。調べてみると、「医薬品医療機器等法で定められている、毒性・劇性が強い医薬品のこと」だそうです。「劇」は、「激しい」という意味をもつ漢字ですから、作用が強いため取り扱いに注意が必要な薬です。ただ、「危険」という訳ではなく、「効果が強い」ということのようです。

私の身体も随分とくたびれてきて、薬に頼りたくなることも多くあります。「目のぼやけ」「ひどい肩凝り」「辛い偏頭痛」「ストレス性胃炎」「腰痛」「膝関節の痛み」「足の裏の疲労」などなど。病院には足が向かない私ですから、全てはドクター尾﨑によるセルフジャッジです。腹の脂肪を減らすサプリメントも気になりますが、そこは薬に頼ることなく、シックスパックの完成に向けて、こつこつと努力しています。もう少しで理想形です。

ちなみに、『劇薬中毒』には次のような歌詞があります。【強い副作用に気をつけて】……。副作用は「医薬品等の望ましくない作用のこと」ですから、それは困りますね。よって、私のお薦めは「劇薬」でなく「漢方薬」です。漢方薬は、「自然由来の草や木などを原料として作られる薬」です。頭痛等をすぐに治すなどというものではなく、継続して服用することで体質を整え、人間のもつ自然治癒力を高めるものだそうです。勉強も部活動も「漢方薬」に限りますね。毎日、こつこつと努力していれば、必ず実を結ぶものです。すぐに目に見えるような効果はなくても、身体にも安全ですし、長期的には自分の力になるものなのです。竜北生の皆さんも、激し過ぎる取組に疲れて嫌になるよりも、小さな取組を続ける努力をしてくださいね。『継続は力なり』『点滴穿石』『凡事徹底』です。私たち教員も、「漢方薬」を服用するつもりで、こつこつと学び続けていますよ。



竜北生の皆さんは興味がないかも知れませんが、私は最近、運勢が落ちている気がします。シルバーウィークに古い箒の柄（ほうきのえ）を鋸（のこぎり）で切っていて、ついでに自分の親指も切りました。採血を乗り越えたのに、その何倍も痛い思いをしました。よそ見は厳禁です。また、本日の朝風呂後に、愛用眼鏡の破損が発覚しました。何だかちくちくすると思ったら、〇印の部品がありませんでした。哀しい出来事が続きますが、鋸や眼鏡のせいではなく、全ては私の不徳の致すところです。次はどんなことが……？



明日から、『第３３回知立市中学校新人戦大会』が始まります。悪運・不運は私が引き受けましたので、安心して試合に臨んでくださいね。焦らず騒がず、「竜北生、Ｇｏ‼」

新チーム結成後、初の大きな大会が始まります。まだまだ「新人」ですから、自分の現在の実力を測る機会となればいいですね。雨予報が心配ですが、ご声援をお願いします。

（令和８年９月２５日）